

VOL.9

何が私を苦しめているのか
 自分が握りしめている
 その物差しです (坂木力)

お寺の 掲示板

vol.9

伊東 恵深
 (三重県/西弘寺)

昨年末、私たち夫婦に娘が誕生しました。妻は私の立ち会い出産を希望しており、できる限り都合をつけて、立ち会えるように予定していました。

高齢で初産ということもあり、早めに入院したのですが、なかなか陣痛がおきません。そこで陣痛促進剤を投与するのですが、数日

れた時間通りに、保育器に入った赤子がやってきました。当初は自然分娩に立ち会うつもりでしたので、あまりの早さに、安心したというよりも拍子抜けしました。

またスマホを片手に、今度は妻が戻るのを待っているのですが、1時間以上たっても戻って

気づかされたことがあります。なぜ私は、拍子抜けしたり、心配になったりしたのでしょうか。

それはもちろん、出産や手術にかかる時間を、同意書によって事前に知っていたからです。そして、その予定時間と実際の時間を比較していたからです。まさに自分が握っている“モノサ



たつても状況は変わらず、そのうち破水しました。このままでは赤ちゃんの命が危ないということで、自然分娩^{ぶぜんぶんべん}を諦めて帝王切開による出産に切り替わりました。

帝王切開は局所麻酔による手術になりますから、同意書に署名しなければなりません。書類には「手術が順調に進めば、胎児を取り出すまで約10分程度。その後、切開箇所を縫合して、手術自体は約1時間で終わる」と書かれていました。

手術室に運ばれる妻を見送り、へ母子ともに無事であつてほしいという不安な気持ちをかき消すように、スマホをいじりながら待っていると、同意書に書か

きません。

〈そういえば同意書には、「万が一の場合は輸血が必要になったり、呼吸抑制がおこったりする可能性があります」と書かれていたよな。大丈夫かなと心配になってきます。もうスマホどころではありません。「仏さんはお願いことをする対象ではない」ということは分かっているつもりですが、何かに祈りたい気持ちになってきます。

不安なまま過ごしていると、予定の時間より遅れて、妻が戻ってきました。手術は順調で元気そうな様子です。ホッと胸を撫^なでおろしました。

ところで、この経験を通して、

シ、ではかることによつて、一言一憂していたのです。

仏教では、このモノサシこそが苦しみを生み出す原因であると説きます。私たちは普段、自分の考えや知識を正しいと思い込んでいます。しかし、それらを強く握りしめればしめるほど、かえつて振り回されてしまうのではないのでしょうか。この事実を、日々の生活ではつい忘れてしまいましたが、妻の出産を通して、あらためて教えていただいたことです。

(いとうえしん)